

LB 会報



2007 年 5 月

有限中間法人東大 LB 会機関紙

法人化後 1 年間の試行錯誤をもとに、LB 会員への広報の方法を改革しました。法人化前から前回 46 号まで刊行してきた「LB ニュース」を発展的に解消して、「LB 会報」を新たにスタートします。LB 会報は原則として年 2 回、過去 1 年間の活動報告ならびに今後 1 年間の活動予定を記載し、全会員に郵送します。同時に、東大 LB 会のホームページ、メルマガを充実させ、日常の会員間のコミュニケーションを図ります。LB 会報の内容、部史に関わるエッセイ等もホームページに収録して、会員ならびに東大サッカーに関心を持つ方々の便に供します。なお、電子的なコミュニケーション方法が使えない会員の方々には、個別にお尋ねして対応していきたいと考えております。

目次

事業計画

- ◆ 東大 LB 会社員総会が開かれました
- ◆ 2006 年度事業報告
- ◆ 2007 年度事業計画
- ◆ 新役員体制
- ◆ 浅見俊雄新理事長の挨拶

キャンペーン

- ◆ 「会費増額」キャンペーン
- ◆ 「LB 会ホームページを見よう」キャンペーン
- ◆ 「御殿下をスタジアムに」キャンペーン
- ◆ 「東大サッカー史編集に参加しよう」キャンペーン

ア式蹴球部からのお知らせ

- ◆ 春の戦績
- ◆ 年間スケジュール

LB 会事務局からのお知らせ

- ◆ LB 会の年間行事予定
- ◆ 訃報
- ◆ 2007 年度会費納入手続き

事業計画

◆ 東大 LB 社員総会が開かれました

2007年3月17日(土)本郷・山上会館にて、社員34名(理事14名、監事2名、代議員18名)の出席のもと開催されました。事前に委任状を提出した者16名であり、合計50名で社員(代議員、理事、監事)総数66名の1/2以上ですので総会として成立しました。

◆ 2006年度事業報告

中間法人初年度である2006年度は、これまでの活動を新法人の名の下に確実にかつ発展させることを基本的方針に、4つの委員会、および4つのチームを置き、各委員会、チーム別に年度計画に基づいて活動しましたが、計画通りの成果を得られなかった事業もあり、課題を残しました。

2006年度の収支報告の明細(次ページ)を解説します。

64.5万円の赤字でした。故服部前監督のご遺族から、「学生達に還元できる形で使っていただきたい」として50万円のご寄付をいただいて収入に計上しているの、実質的には110万円以上の赤字です。

収入は合計457万円です。一番大きな項目は会費で288万円(合計の63%)となっています。法人化前の2005年度と比べると100万円近く増えています(その後、新年になってからの後追い納入者を合わせて2006年度の会費納入者は272人、金額は321万円となり、70歳以上の名誉会員の中の会費既納者は20名です)。サッカー教室79万円(17%)納会等参加費収入27万円(6%)は費用とほぼ見合いの額です。あとの寄付金53万円(11%)、旧LB会より繰越9万円(2%)はこの年度だけの特殊要因です。

支出合計は522万円です。最大費用項目はア式蹴球部支援(コーチ、トレーナー費用等)で、329万円(63%)に上っています。サッカー教室費用66万円(12%)、納会等費用29万円(6%)は、収入のところで触れましたが、収入とほぼ対応しています。法人化により新たに発生した費用は法人化手数料16万円(3%)、租税公課7万円(1%)合計23万円ですが、法人化前に比べて活発化した事業費用として情報通信費(LBニュース、総会連絡等)50万円(10%)、会議費7万円(1%)、(振替)支払い手数料5万円(1%)などがあげられます。

名簿記載の会員数は、約780名(内物故者約230名)。生存者約550名の内連絡先不明者が約40名。したがって約510名に連絡可能です。

2006年度		収支決算書			
		2006年1月23日から2006年12月31日まで			
		有限責任中間法人東大LB会			
科 目	決 算	摘 要		金 額	
I 収入の部		① 3人	@3,000*3	9,000	
1 会費・入会金収入					
入会金収入	① 9,000	② 口座振替	148人	1,714,000	
会費収入	② 2,872,000	みずほ	42人	517,000	
	2,881,000	三菱	22人	258,000	
2 事業収入		郵便振替	32人	383,000	
(3)サッカー教室委員会	③ 789,735	合計	244人	2,872,000	
(5)総務チーム	④ 270,000		*二重払い3人36,000円を含む		
	1,059,735	③ 少年サッカー教室会費収入他		789,735	
3 寄附金収入		④ 納会参加費収入		270,000	
会員からの寄付	⑤ 5,000	⑤ 口座開設時入金 吉沢		5,000	
その他寄付金	⑥ 530,000	⑥ 服部さんご遺族より		500,000	
	535,000	学士会 納会時寄付		30,000	
4 その他収入				530,000	
利息収入	617	⑦ 旧LB会みずほ口座残高		46,950	
HP広告	0	旧LB会口座、佐藤吉見より		48,000	
旧LB会より	⑦ 94,950			94,950	
	95,567				
		⑧ コーチ 209,000*11		2,299,000	
		トレーナー 83,330*8		666,640	
		コーチ交通費		39,010	
		スポーツ		115,500	
		練習中車破損修理代		171,759	
				3,291,909	
当期収入合計	4,571,302				
収入合計	4,571,302	⑨ 少年サッカー教室コーチ謝礼他		660,488	
II 支出の部					
1 事業費		⑩ 納会費用 山上会議所		270,000	
(1)ア式蹴球部支援委員会	⑩ 3,291,909	五月祭 講演諸経費		14,081	
(2)年代別チーム運営委員会	0	ホームがソフレイ 審判謝礼		3,000	
(3)サッカー教室委員会	⑨ 660,488			287,081	
(4)歴史編纂委員会	0				
(5)総務チーム	⑩ 287,081	⑪ LBニュース発送料 6回発行			
(8)情報チーム	⑪ 434,347	予算では管理費「通信運搬費」と「印刷製本費」になっていたが、決算では事業費に計上した。			
	4,673,825				
2 管理費					
消耗品費	14,062				
通信運搬費	⑫ 69,105	⑫ 総会、納会案内状郵送料ほか			
租税公課	⑬ 70,760	⑬ 均等割J64,100円他			
慶弔費	⑭ 114,125	⑭ 服部さんお見舞い、感謝状、供花他			
会議費	⑮ 66,796	⑮ 理事会会場費、コピー代他			
支払手数料	⑯ 47,029	⑯ 入金振替手数料 みずほ		36,214	
法人化手数料	⑰ 160,635	振込手数料		10,815	
	542,512			47,029	
当期支出合計	5,216,337	⑰ 設立登記登録免許税他			
当期収支差額	△ 645,035				
次期繰越収支差額	△ 645,035				
コメント					
1	会費収入については、未収は計上していません。二重入金の方もいましたがそのまま計上しています。				
2	収支差額は645千円のマイナス、損益も645千円の赤字決算となりました。				
3	服部さんご遺族からの寄付金500千円が収入となっていますので、実質は100万円以上の赤字となります。				

◆ 2007 年度事業計画

前年度の反省のもと、課題を解決するための施策を4つ掲げた事業計画が承認されました。

2007 年度の課題と施策

	課題	施策
1	収入、支出をバランスさせ、安定的、継続的発展の経済的基盤を作る	「財務改善プロジェクト」で実施計画を立て実施する。
2	社会への貢献を目指す組織の具体的な事業を発展させる	<ul style="list-style-type: none"> • 学内のサポーターの組織化、“大人のサッカー”による地域住民への働きかけ • 東大創立 130 周年記念の大学行事に協力 • 御殿下グラウンド設備改善を推進する「御殿下ルネッサンス・プロジェクト」の立ち上げ • ホームページ、メルマガで会員および社会に対する情報発信
3	東大サッカーの歴史からビジョンを明確化して、現役部員及び会員の連帯感を高める。	「部史編集委員会」が年間活動計画を作り、実施する。
4	組織活動の迅速化、効率化	<ul style="list-style-type: none"> • 理事会にかける議案を精選し、事務局に権限委譲し懸案解決施策を効率的に進める。 • 総務チームを「総務会」に格上げして事務局の業務を集中管理する体制にする。 • 現役と LB の交流の場を広げる

◆ 2007 年度東大 LB 会役員

初年度の特別規定で全役員(理事、監事)の任期が今次社員総会終了までとなっていますので、社員総会で新役員を選任し、そのあと開かれた理事会で、理事長、副理事長を選出しました。理事の任期は2年、監事の任期は4年です。下線が新任(他は再任)です。(浅見、小山両氏は理事に再任、西野氏は監事からの理事へ異動。)

理事長：浅見俊雄(S31)、副理事長：西野宏(S33)、副理事長：小山富士夫(S35)

理事：梅村洋(S38)、樋口周嘉(S40)、坂井忠昭(S42)、小川恭二(S43)、藪内俊和(S44)、佐藤吉見(S45)、手島直幸(S47)、兵頭圭介(S50)、吉沢伸明(S50)、影本浩(S51)、南谷尚志(S51)、利重孝夫(S63)、矢野将文(H10)、伊地知亮太(H12)、胡内健一(H15)

監事：畔柳敏雄(S34)、堀井茂(S51)

相談役：須賀敏孝(S19)、柴沼明(S28)、岡野俊一郎(S31)、原靖二郎(S32)

◆ 理事長就任の挨拶

昭和 31 年卒 浅見俊雄

LB 会の理事長に就任するに当たって紙上をお借りして会員の皆様にご挨拶させていただきます。

まず何よりも長年 LB 会の会長として、また法人化後の最初の 1 年を理事長として会をリードしてくださった須賀敏孝さんと、副理事長として理事長を補佐してくださった柴沼明さんに、ご苦労さまでしたと申し上げると同時に、これからも大所高所からのご指導ご助言をお願い申し上げます。



私が組織の運営に当たって常に心がけていることは、フラットでシャープな組織でありたいということです。卒業年度にかかわらず会員はみな同じ権利と義務を持った組織で、機能はシャープでありたいということです。またサッカーのプレーと同じように、走りながら考え、決断し、実行していく組織でありたいとも考えています。

LB 会はさまざまな事業を立ち上げようとしていますが、一番重要なのは現役の活動の支援です。現役が少しでも強いチームになるよう LB 会としてできることをしていくことです。中でも財政的支援は最も重要です。法人となった初年度は赤字を計上してしまいましたが、この解決策は会員からの会費の納入率を上げるしかありません。この点についての会員の協力を強くお願いしたいと思います。

また一人でも多くの会員が現役の試合の応援に来ていただきたいと思っています。事業の中で LB 会員が御殿下でサッカーを楽しめる時間も用意していますので、こちらにも出かけてきてサッカーを楽しんでください。

その他部史の編集とか、子どものサッカーを含めた地域社会への貢献とか、サッカーをテーマとした文化事業の展開など、LB として取り組まなければならない事業はいろいろあります。時間の許す範囲で、できることをご協力いただければとお願いする次第です。また LB 会あるいは東大ア式蹴球部に対する忌憚のないご意見をお寄せくださることも期待しています。

(注) 写真は 2007 年 1 月 20 日、国立競技場での 70 歳以上の東西対抗戦の折に撮影したもの。

この大会では LB50・LB60 の有志がボランティアとして参加し、大会運営の中心となった。

キャンペーン

◆ 会費増額キャンペーン

財務改善プロジェクトチーム

法人化して初年度の2006年度の決算は赤字決算となり、監査報告で、監事は「収入が予算を大幅に下回ったため決算の結果は大幅な赤字となっています。早急に収支のバランスを改善し黒字化を図ることが、当法人にとって必要不可欠であると考えます。」と述べています。

財務基盤確立のため【財務改善プロジェクト】を立ち上げ、その第1弾として、会費増額キャンペーンを展開させていただきます。先ずは、2007年度会費納入にあたり、定款で定めている下限の口数を超えた額の納入をお願いします。

会費増額キャンペーンでは、主な収入源である会費について、①納入率の向上、②納入単価の増加の2つの面から、増加させることを企図しています。後者の納入単価の増加について、会員の皆様の理解と協力をお願いします。定款では年会費は1口3千円を4口以上(大学院生は1口以上)と定めており、殆どの方はこれまで12,000円を年会費として納めていただいているところではありますが、今年度からできるだけこれを超えて5口以上の納入をしていただきたいとのお願いです。

具体的な手続きについては、後述「◆2007年度会費納入手続き」をご覧ください。

◆ 「LB会ホームページを見よう」キャンペーン

東大LB総務会

昨年3月にLB会のホームページを立ち上げましたが、1年間の利用結果は残念ながら芳しいものではありませんでした。会員と事務局、会員相互、LB会と社会のコミュニケーションツールとしてホームページを全面的に更新します。

主な改善点は以下の通りです。会員の皆様のご利用をお待ちしております。

ホームページ改善点

1. ドメイン名をかえる:(新)<http://www.LBsoccer.org>
(5月末に現在の<http://www.todai-lb.com>から移行予定)
2. 会員ならびに広く社会に広報するため、極力開かれた形で、多くの人々が利用するものにする。
3. 広報ポリシー、運用管理方針をホームページ上に明示する。

4. 「更新」し続ける仕組みを工夫する。コンテンツ提供責任者(LB 会総務会、各事業責任者)が、技術責任者(吉野元章[S54])に更新依頼。
5. 更新頻度の想定:基本的更新項目とリンク情報を意識する。
6. ドメイン名の周知の仕組みを工夫する
7. パスワード等の規制は乱発しない。
8. 試合参加予約について Web からの書き込みを可能とするシステムを検討する。
9. データの 2 重バックアップの仕組み(サーバー内別フォルダー、外部メディア)作り。

◆ 「御殿下をスタジアムに」キャンペーン

御殿下ルネサンスプロジェクト (GRP) チーム

(文責:手島直幸)

御殿下グラウンドは東京大学の歴史的資産です。夏目漱石「三四郎」に描かれるように秋の大運動会が開かれ、大正時代から昭和にかけてのア式蹴球部全盛時には全日本選手権等大きな大会の会場として使われた歴史があります。昭和40年代、関東大学リーグの試合も御殿下グラウンドで行われ、学内外の観客が山の上に鈴なりになって観戦していました。昭和50年代になって大学100周年記念事業として御殿下記念館が地下に建設されることになり、御殿下グラウンドは、コンクリートに人工芝を貼り付けたものとなりサッカーの公式戦ができる条件でなくなりました。天然の観客席は失われ、地下にあった部室は取り壊され、サッカー部は農学部グラウンドに本拠地を移しました。5年前に、御殿下グラウンドは改良された人工芝に張り替えられ、サッカーの公式試合も行えるようになり、サッカー部は農学部グラウンドから御殿下グラウンドに戻りました。FIFA公認の人工芝グラウンドです。

しかしながら、スタジアムとしての御殿下グラウンドには問題があります。観客のいる対外試合をするレセプション機能(観客席、更衣室、シャワー、トイレ等の付帯設備)が欠如しています。サッカー部の場合、練習以外に学外チームとの試合も多く組まれ、秋には東京都大学リーグのリーグ戦が開催されています。また、ホームカミングDayのように学外の人を招いた試合が行われることもあります。観衆は網の外から立ち見で、学外からの相手チームにはグラウンド脇の屋外で更衣して試合をして、終わってもシャワーなしで帰るといふ、「恥ずかしい」状況であります。

GRP チームでは具体的な設備改修案を作り、大学関係者に働きかけを始めました。LB 会員全員に現状を理解していただき、GRP への支援をお願いします。現在はアイデア段階ですが、企画案を2つ紹介します。

【プラン A】 病院側スタンド案

病院側照明塔 2 基の間(約 45m)、タッチライン外の中央部分に、グラウンド付帯施設として必要な最低限の機能施設(全長約 40m)を構える。

グラウンドレベルでは中央に本部機能に転用できる Café を配し、両側を観客スタンドとする。道路レベルでは中央に Café、両側に更衣室、シャワー室、トイレを 2 チーム分用意し、両端部には病院側道路とグラウンドとの連絡階段を設ける。

【プラン B】 山上会館側スタンド案

昔たくさんの観衆が試合を応援した山があった辺りにスタンドを設ける。現在グラウンドと山上会館の間にある通路をふさがないように、山上会館のロビーの窓先にテラスを張り出す形で数段の座席を設ける。グラウンドレベルから数メートルの高さになる。スタンドの下部分に更衣室、シャワー、トイレを設置する。(山上会館の利用計画との調整が必要)

◆ 「東大サッカー史編集に参加しよう」キャンペーン

部史編集委員会

東大サッカー部(東大ア式蹴球部)は、日本のサッカーに重要な役割を果たしてきたにもかかわらず、その足跡を記録した本格的な部史がまだ出来ていません。いわゆる名門校の中で、本格的な部史がないのは東大だけだと、日本のサッカー史を研究している人たちから批判されている有様です。

創部は大正 7 年(1918 年)とされており、来年(2008 年)に 90 周年を迎えます。この機会に、本格的な部史を編集し、日本のサッカー史研究に資するとともに、東大ア式蹴球部と東大 LB 会の組織ビジョンを確かめる縁としたいと思います。

編集委員会を神田学士会館本館地下の東大連絡事務所で原則月に 1 回開催します。第 1 回は 4 月 10 日(火)に開催し、どのように資料を収集し、編集するかを議論しました。参加者は浅見俊雄(S31)、牛木素吉郎(S31)、山本修(S31)、小山富士夫(S35)、手島直幸(S47)、宮路康利(S47)、岡田滋行(S49)、吉野元章(S54) の 8 人です。第 2 回は 5 月 9 日(水)に開催しました。第 3 回は 6 月 12 日(火)18:00 からです。歴史的資料を持ち寄り議論します。関心のある方は世話役(手島直幸)まで連絡をください。(手島携帯:090-9012-5325)

編集方針と方法については、3月17日に開かれた東大LB会の社員総会で承認された部史編集計画をもとに、適宜修正しながら進めるつもりです。現時点の編集計画は次のとおりです。

- I. 創部当時から昭和初期にかけての資料を収集、保存し、日本サッカー協会、関東大学サッカーリーグ創設当時の事情を明らかにする。
 - (1) 創部の功労者である新田純興、野津謙、および初期の黄金時代の功労者である竹腰重丸の3先輩に関する資料(文献と写真)を、それぞれ担当者を決めて収集、記録する。併せて、篠島秀雄、手嶋志郎、竹内悌三、種田孝一、高橋豊二、有馬洪、横山陽三、大埜正雄、早川純生の各先輩の資料も収集する。
 - (2) 帝国大学新聞(東大図書館所蔵)、「運動界」(秩父宮記念スポーツ図書館所蔵)などの当時の文献から、東大サッカーおよび3先輩に関する記事を収集する。
 - (3) 当事者の関係者、遺族などにインタビューして、資料を収集する。須賀敏孝(前LB会理事長)、岡野俊一郎(元日本サッカー協会会長)に特に担当者を決めてインタビューし、記事とするとともに、記録収集に役立てる。

- II. 80周年記念「闘魂」第5号にすでに掲載されている年史を点検するとともに、記録等を新たに補充して改訂する。
 - (1) 全体の責任者を定めるとともに、年度ごとの担当者(当面LB会の代議員)を決めて、「闘魂」の記録の点検と補充を行う。
 - (2) 朝日新聞を中心に、主要新聞等の記録と関係記事を収集し、各年度の担当者に資料として配布する。
 - (3) 記録以外の年度ごとの資料(エピソード)等を文献から収集する。
 - (4) 『闘魂』第5号掲載の記録を、各年度の担当者に送って、それぞれの年度について点検と補充を依頼する。

- III. 卒業年代別に「時代の証言」を集めて記録する。
 - (1) 全OBに呼びかけ、各年代の「思い出」等の執筆を依頼する。
 - (2) 各年度の担当者が年度ごとの「まとめ」記事を執筆する。
 - (3) いくつかのテーマを決め、年度ごとに「思い出」「資料」(写真)等を提供してもらい、サイドストーリーの通史を構成する。
(例)「御殿下グラウンドの変遷」、「ルール、ボール、リーグ戦の会場の変遷」等

IV. データベースの構築

- (1) 収集した情報を編集委員会で共有して利用するためにクローズドの暫定データベースを設ける。
- (2) 編集した資料を将来にわたって保存するために、LB 会内にデータベースを設ける。限定して公開できるものとする。
- (3) 共有パソコンの設置(機材と場所)、サイトの開設についての技術的、財政的問題は、今後検討する。

ア式蹴球部からのお知らせ

◆ 春の戦績

第 12 回東京都サッカートーナメント兼 2007 年度総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント関東予選出場チーム決定戦都学連予選

4/7(土)の 2 回戦は桜美林大学と対戦し 4-0 で勝利をおさめましたが、4/8(日)の 3 回戦では玉川大学と対戦し 1-2 と惜敗しました。

2 回戦 東京大学 4-0 (前半 3-0) 桜美林大学(都 3 部)

3 回戦 東京大学 1-2 (前半 1-0) 玉川大学(都 1 部)

国公立大会

東京都の国公立大学による大会に B チームで臨みました。4/21(土)の 1 回戦は首都大学日野キャンパス(旧科技大)と対戦し 1-0 で勝利をおさめ、4/28(土)の 2 回戦では首都大学(旧都立大)と対戦し 5-1 で勝利し、準決勝進出を決めましたが、5/3(木)の準決勝で東工大に 1-2 で敗れ 3 位決定戦に回りました。5/5(土)の 3 位決定戦では、農工大を 1-0 で下し、3 位は確保しました。

1 回戦 東京大学 1-0 (前半 0-0) 首都大学日野キャンパス(都学連非加盟)

2 回戦 東京大学 5-1 (前半 4-0) 首都大学(都 3 部)

準決勝 東京大学 0-2 (前半 0-1) 東京工業大学(都 3 部)

3 位決定戦 東京大学 1-0 (前半 1-0) 東京農工大学(都 3 部)

◆ ア式蹴球部現役 5 月以降の予定

第 31 回 1・2 部 春季対抗戦

期間 5/6～7/1 の日曜日

大会方式 東京都大学サッカーリーグの 1、2 部の計 20 チームが 5 チームずつ 4 ブロックに分かれて総当たり戦を行い、各ブロックの上位 2 チームが決勝トーナメントに進みます。

春季対抗戦予選リーグ

5 月 6 日 対日大文理(1 部 昨年度都 1 部 6 位)@御殿下 G (1-1 引き分け)

5 月 13 日 对上智大(2 部 昨年度都 2 部 5 位)@御殿下 G 14:00 開始

5 月 20 日 対立正大(1 部 昨年度関東 2 部 11 位)@立正大熊谷 G 12:00 開始

5 月 27 日 対日大(1 部 昨年度関東 2 部 12 位)@御殿下 G 14:00 開始

決勝トーナメント予定

一回戦 6 月 17 日 準決勝 6 月 24 日 決勝 7 月 1 日

京大戦

7 月 29 日(日)

今年は東京での開催になります。場所は御殿下 G を予定しております。

合宿

8 月中(詳細未定)

秋季リーグ戦…東京都リーグの 2 部で戦います

試合日 9/2～10/28 の毎週日曜日

今年度の東京都リーグ 2 部編成

立教大学	(昨年度 1 部 7 位)
学習院大学	(昨年度 1 部 8 位)
成城大学	(昨年度 1 部 9 位)
明治学院大学	(昨年度 1 部 10 位)
東京大学	(昨年度 2 部 3 位)
一橋大学	(昨年度 2 部 4 位)
日本大学生物資源科学部	(昨年度 2 部 5 位)
上智大学	(昨年度 2 部 6 位)
日本大学商学部	(昨年度 3 部 1 位)
創価大学	(昨年度 3 部 2 位)

- (注) 昨年度の 1 部 9 位、10 位が 2 部の 1 位、2 位と入れ替え
1 部の 7 位、8 位は関東 2 部からの玉突きにより 2 部に降格
2 部の 9 位、10 位が 3 部の 1 位、2 位と入れ替え
2 部の 7 位、8 位は玉突きで 3 部降格

参考までに、1 部は以下の 10 校です。

立正大、日大、朝鮮大、東洋大、武蔵大、國學院大、成蹊大、日大文理学部、
東京経済大、玉川大

◆ 新入部員

今シーズンの新入部員 12 名が 5/1 より正式に加わりました。これにより今シーズンは部員 54 名で 1 部昇格を目指し戦っていきます。

LB 会事務局からのお知らせ

◆ LB 会の 5 月—12 月行事予定

5 月 27 日(日)	五月祭・サッカースクール@御殿下 G
7 月下旬	第 2 回理事会
7 月 28 日(土)	京大戦前夜祭@御殿下 G
7 月 29 日(日)	京大戦@御殿下 G
11 月 10 日(土)	ホームカミングデイ親善大会運営@御殿下 G
12 月中旬	第 3 回理事会
12 月 15 日(土)	納会、現役・OB 交流試合@御殿下 G

◆ 年代別チームの活動

LB 会では、20 代から 70 代までの広い年齢層の仲間が、それぞれの年代でまとまってサッカーをする機会を持つと、様々な活動をしています。今回は 50 歳以上の【LB50】と 60 歳以上の【LB60】の活動実績と、今後の予定をお知らせします。

LB60 では、70 歳を超えた OB も多数活躍されています。1 月に国立競技場で行われた東京都サッカー協会主催の 70 歳以上の東西対抗戦には大正 14 年生まれ(昭和 22 年卒)の三井さんを初めとして 11 名が参加され活躍されました。

以下に実績と予定を記しました試合は、いわゆる公式戦ですが、LB50・LB60 ではこの他に、相手チームを探して親善試合を行っています。

LB50・LB60 試合の実績と予定

3月3日(土)	七大学(旧七帝大)OB戦@検見川 G LB60:優勝、LB50:4位、ヤング:優勝(但し混成軍)
4月1日(日)~29日(祝)	東京都シニア(O-60)サッカー大会@駒沢補助 G LB60:予選ブロック1勝1敗で9~12位決定戦に回り 1勝1分けで9位
5月3日(祝)	東早慶3大学超OB定期戦@第一生命 G LB50、LB60合わせて35人参加
5月19日(土)~20日(日)	古河マスターズサッカー大会(LB50、LB60)@古河市
9月15日(土)~16日(日)	スーパーエイジサッカーin刈谷(LB60)@刈谷市
10月中頃	FC東京シニアデイ・フットサル大会(LB50)@調布
11月3日(祝)	東早慶超OB定期戦(LB50、LB60)@第一生命 G
11月17日(土)	藤枝遠征試合(LB50)@藤枝市民総合 G

(前述の京大戦前夜祭、京大戦、ホームカミングデイ、納会にも試合を予定。)

◆ 訃報

平成18年1月の法人化以降に、事務局で把握しましたLB会員の訃報です(平成17年以前にお亡くなりになった方を含みます)。

ここに謹んでお知らせしますと共に衷心より哀悼の意を表します。(敬称略)

卒年	氏名	ご逝去日
昭和10年	太田 博太郎	平成19年 1月 19日
昭和16年	有馬 洪	平成16年 4月
昭和18年	武者 廣吉	平成17年 5月 6日
昭和19年	大貫 雅敏	平成18年 5月 17日
昭和22年	渡辺 洋三	平成18年 11月 8日
昭和24年	後藤 大三	平成19年 1月 19日
昭和24年	二宮 泰	平成18年 4月 27日
昭和24年	馬渡 一真	平成19年 4月 18日
昭和25年	福田 重信	平成14年 4月 22日
昭和26年	中村 一夫	平成17年 5月 13日
昭和28年	石井 正	平成18年 4月 21日
昭和32年	小松 新樹	平成17年 12月 4日
昭和34年	服部 一郎	平成18年 5月 9日
昭和35年	安達 良英	平成17年 2月 28日
昭和38年	仁科 正純	平成18年 10月
昭和38年	山根 文吾	平成19年 3月 23日
昭和40年	平井 啓詞	平成17年 5月 9日
平成2年	手塚 耕治	平成17年 12月
平成14年	鎌倉 貞之	平成17年 8月

◆ 2007 年度会費納入手続きについて

2006年度の会費納入に付きましては、別紙の如く270名を上回る多くの方々に払い込みを行なっていたいただき有難うございました。特に、新たに100名を越す方々に口座振替のご利用をいただきましたことを御礼申し上げます。

新しい年度における会費納入手続きの進め方について、以下に説明します。

1. 口座増加キャンペーン

別途ご説明しておりますが、昨年度にお納めいただいた会費では、現役のためのコーチとトレーナーの報酬をカバーすることができない状況です。引き続き一人でも多くの方に納入をお願いして参りますが、同時に毎年お納めいただいている方々に、是非とも会費の納入口数の増加をお願いしたいと考え『口座増加キャンペーン』を行います。

2. 既に口座振替をご利用の方々

- (1)『振替金額指示書』を同封いたしましたので、『口座増加キャンペーン』にご賛同いただき、新たな口数のご指示をお願いします。
- (2)なお、4 口以上が原則ではありませんが、何等かのご事情により、口数減が必要な場合にも同指示書をご利用いただけます。
- (3)今回、指示書のご送付が無い場合には、昨年と同じ口数を振り替えます。
- (4)大学院に在学或いは留年中の会員に対しては、会費は 1 口以上としています。今年から社会人になる方は、4 口以上への増加をこの指示書を利用してお願いします。
- (5)振替対象口座の変更が必要な場合には下記の担当者へFAXもしくはメール或いは郵便でご連絡をお願いします。新しい口座で手続きを行っていただく必要がありますので『預金口座振替依頼書』をお送りします。
- (6)今年度の口座振替は7月末に実施する予定です。

3. 名誉会員の方への会費納入のお願い

旧 LB 会の伝統を引き継いで、70 歳以上の会員を『名誉会員』とさせていただいております。名誉会員各位には、会費の納入義務は負っていただかないことにしてありますが、現役への金銭面での支援を続けようとお考えの方に、『任意』の額を会費としてお納めいただくことをお願いしてきております。今年度は昭和 34 年以前のご卒業の方々を名誉会員とさせていただきます。会費としてお納めいただけます場合には、既に口座振替を行っていただいている方は上記 2 項、未だの方は下記 4 項によってください。

4. 口座振替を未だ行なっていない方々

- (1)『預金口座振替依頼書』を同封しましたので、今後の手続きが簡単で個人での手数料負担の無い振替制度のご利用を再度お願いします。(手続きは一回限りです。毎年の振替は都度 LB 会から金融機関への指示に基づいて行われます。LB 会では指示を出す前に会員各位に金額の確認をします。その時点で金額変更や取り止めが可能です。)
- (2)新たに『預金口座振替依頼書』をお出しいただく方は、併せて同封の『振替金額指示書』への記入もお願いします。その上で、『預金口座振替依頼書』と『振替金額指示書』を同封の封筒で尾崎宛郵送願います。(申し訳ありませんが切手代のご負担をお願いします。)
- (3)口座振替でなく、ご自分で銀行もしくは郵便局からの送金を希望の方は、以下の通り、3つの金融機関にLB会の口座を用意していますので、何れかの口座へのお振り込みをお願いします。

口座名義人：有限責任中間法人東大LB会

① みずほ銀行 日本橋支店(038) (普通預金)番号:2213920

② 三菱東京UFJ銀行 日本橋支店(020)(普通預金)番号:5125311

③ 郵便局 (払込取扱票を同封)

なお、振り込みいただく場合も、会費金額は1口3千円、4口以上(『口数増加キャンペーン』にご賛同いただける場合は5口以上)でお願いします。また、振込手数料はご負担願います。

以上、ご不明な点がありましたら、下記担当宛何なりとご照会下さい。

吉沢 伸明(S50年卒)

携帯：090-7395-9559

メール：aya8423@opal.dti.ne.jp

自宅：〒233-0007 横浜市港南区大久保 1-13-14

TEL&FAX：045-842-4173

尾崎 哲男(S50年卒)

携帯：080-5020-8062

メール：tikazo@jcom.home.ne.jp

自宅：〒187-0004 小平市天神町 1-359-3

TEL：042-332-2275

編集後記

♪ 前 LB 会時代に幹事長の原靖二郎 (S32) さんが、はじめられた LB ニュースのスタイルを変えることにしました。 **LB ニュース** の見慣れたロゴがなくなるのは寂しい。新しい LB 会報のロゴはいかがでしょうか。(て)

♪ 2006 年 1 月有限責任中間法人設立後、LB ニュースは 6 回出しました。活動状況を遅滞なく会員に知らせようとしたのですが、郵送費が大変なことがわかりました。E メールやメルマガなど電子媒体による連絡方法が一般化してきたことから、郵送する広報情報の回数を減らして、電子媒体主体で広報することにしたわけです。次回の「LB 会報」は秋、部史の特集ですか。(て)

♪ LB 会報は中間法人東大 LB 会の機関紙として、充実した内容のものにしたいと思っています。ただ、「立派な体裁の機関紙を作る」と構えてしまうとなかなか大変な作業になってしまうので、見切り発車します。会員の皆様のご指導、ご鞭撻によりカイゼンを繰り返して行きたいと思います。(よ)

♪ LB 会事務局は人手不足です。現在意欲的に協力してくれる LB 会員を募集中です。よろしくお願いします。(ひ)

♪ ア式蹴球部に今年も新入生が入りました。東大サッカーの伝統を引き継げるよう努力します。(い)

♪ ホームページは 5 月下旬リニューアル版スタートの予定です。ホームページに関するご質問、ご意見は、管理者(手島直幸)宛て、メールでお願い申し上げます。n_teshima@hotmail.com
郵送でのご意見は右下宛先(ア式蹴球部)までお寄せください。(て)

LB 会報 発行責任者
有限責任中間法人東大 LB 会 :
編集責任者 事務局長 樋口周嘉
総務 手島直幸、吉沢伸明、尾崎哲男
東大ア式蹴球部 : 主務 碓知也
〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学運動会内 ア式蹴球部
Tel&Fax 03-5800-1939